

# 東アジア文化都市

## 文化を通じて3都市が交流する大型事業



「東アジア文化都市」事業は、2012年5月に行われた第4回日中韓文化大臣会合（於：上海）での合意に基づき、日本・中国・韓国の3か国において、その国の伝統文化を代表する文化都市または文化芸術による発展を目指す都市を選定し、その都市において、様々な文化芸術イベント等を実施するとともに、3都市を行き来しながら文化交流行事を実施する事業である。これにより、東アジア域内の相互理解・連帯感の形成を促進するとともに、東アジアの多様な文化の国際発信力の強化を図ることを目指している。先行事例として、ヨーロッパ連合(EU)とASEANが1985年と2008年からそれぞれ実施している「欧州文化首都」と「ASEAN文化都市事業」がある。

また、東アジア文化都市に選定された都市がその文化的特徴を生かして、文化芸術・クリエイティブ産業・観光の振興を推進することにより、事業実施を契機として継続的に発展することも目的としている。この観点から、3都市は、その年以降も日中韓文化交流や青少年交流を継続してきた。また、各国が過去の東アジア文化都市との交流強化や、欧州文化首都やASEAN文化都市との連携にも力を入れている。



◀ 東アジア文化都市2020の3地域のロゴ

提供

上から日本・北九州市、中国・揚州市、韓国・順천시



日中韓都市間のトライアングル交流は、東アジア文化都市のフォローアップ事業が順調に継続する場合、毎年1つずつ交流都市のトライアングルが増加していくため、日中韓3国の民間の相互理解の増進にとって貴重なレガシーとなっていくことが期待される。

### これまでの「東アジア文化都市」

選定年度	日本	中国	韓国
2014年	横浜市*	泉州市	光州広域市
2015年	新潟市	青島市*	清州市
2016年	奈良市	寧波市	済州特別自治道*
2017年	京都市*	長沙市	大邱広域市
2018年	金沢市	ハルビン市*	釜山広域市
2019年	東京都豊島区	西安市	仁川広域市*
2020年	北九州市*	揚州市	順천시

(\*は、日中韓文化大臣会合開催地)



◀「東アジア文化都市円卓会議」

写真提供  
寧波市



◀「東アジア文化都市友好碑」  
除幕式

写真提供  
寧波市



## 2016年12月：寧波市主催「東アジア文化都市円卓会議」

2016年12月7日、寧波市は、東アジア文化都市閉幕式に合わせ、「東アジア文化都市円卓会議」を開催した。同年の東アジア文化都市である濟州と奈良をはじめとし、中国文化部（当時）、歴代の東アジア文化都市である泉州市（2014年）、青島市（2015年）、長沙市（2017年）、光州広域市（2014年）、清州市（2015年）、大邱広域市（2017年）の代表が参加をした。各都市の代表は、「東アジア文化都市事業が都市発展促進に果たした役割と、東アジア文化都市の交流・協力の強化策」をテーマに発表を行い、「東アジア文化都市寧波提議」に署名を行った。また2014年から2017年の12の東アジア文化都市の名前を日本語、中国語、韓国語で刻んだ「東アジア文化都市友好碑」除幕式が同時に開催された。

東アジア文化都市サミット ▶

写真提供  
京都市



「東アジア文化都市サミット  
京都宣言」署名式

写真提供  
京都市



## 2017年8月：京都で「東アジア文化都市サミット」開催

2017年8月26日に東アジア文化都市2017の京都市が主催、文化庁が支援をした同行事が国立京都国際会館で開催された。2014年から2018年の東アジア文化都市とASEAN文化都市などから19人の代表者が集まり、各都市の文化都市活動の成果を共有し、東アジア文化都市事業の発展を議論した。同行事で採択された「東アジア文化都市サミット京都宣言」では、以下の点が盛り込まれた。

1. 若い世代の交流に継続して取り組むとともに、市民、団体、企業などによる幅広い交流の機会を創出する。
2. 東アジア文化都市のネットワーク強化や事業充実にむけた方策を議論する 有識者会議に参画し、事業の発展に貢献する。
3. 文化を通じた幅広い交流の促進と連携強化、ASEAN文化都市との連携を視野に入れた更なる発展に向け、今後も「東アジア文化都市サミット」を開催する。

参加国	参加した文化都市（選定年度）/ASEAN
日本	横浜市(2014)、新潟市(2015)、奈良市(2016)、京都市(2017、主催都市)、金沢市(2018)
中国	泉州市(2014)、青島市(2015)、寧波市(2016)、長沙市(2017)、ハルビン市(2018)
韓国	光州広域市(2014)、清州市(2015)、済州特別自治道(2016)、大邱広域市(2017)、釜山広域市(2018)
ASEAN	フィリピン、シンガポール、ベトナム、ブルネイ



◀ 「ASEAN+3文化都市ネットワーク」発足式  
記念集合写真

写真  
日中韓三国協力事務局

## 2019年10月：中国・揚州市で「ASEAN+3文化都市ネットワーク」 発足式開催

2019年10月24日から26日にかけて、中国揚州市にて、「ASEAN+3 (APT)文化都市ネットワーク発足式」が開催された。同行事は、中国文化観光部が主催の下、日中韓の東アジア文化都市、ASEAN文化都市代表団、各国の関係者約200人が参加し、APT文化都市ネットワークの発足が宣言され、同宣言文において、1.相互理解と信頼の向上、2.文化交流事業の促進、3.観光業界の協力の強化、4.青少年交流の推進について合意された。

## 2019年：東アジア文化都市事業発展のため、各国の文化都市の間で連 帯強化の取り組み



◀ 中国「東アジア文化都市  
業務訓練プログラム」

写真提供  
中国文化観光部

### 中国「東アジア文化都市業務訓練プログラム」

2019年8月13日から14日にかけて、東アジア文化都市2019の中国・西安市で初めての中国東アジア文化都市業務訓練プログラムが開催された。同プログラムは中国の文化観光部が主催した。2014年から2019年の中国の歴代文化都市と2020年に選定された揚州市、東アジア文化都市2019である日本・東京都豊島区と韓国・仁川広域市の代表団、文化省庁の関係者及び専門家等の約100名が出席した。このプログラムを通じて、歴代の東アジア文化都市は事業運営の経験と今後の事業計画を共有した。また、「東アジア文化都市の申請、審査、選定と管理の実施方法」、「東アジア文化都市の申請条件と評価基準」など東アジア文化都市のブランド発展のための提案を専門家が発表した。



### 韓国「2019年度東アジア文化都市協力ワークショップ」

韓国の初代東アジア文化都市である光州広域市の「(社) アジア文化中心都市造形支援フォーラム」は、2019年12月10から11日にかけて、2019年度東アジア文化都市協力ワークショップを開催した。同ワークショップは、韓国の歴代東アジア文化都市の実務者が緊密なコミュニケーションと協力を通じて、交流事業の向上を図り、3国で生じた環境の変化に対する文化都市の協力を議論する目的のもと、2019年に初めて開催された。光州広域市の他、韓国の4地域（清州市、済州特別自治道、釜山広域市、順天市）、日中韓三国協力事務局など関係機関から15人が参加した。